

研修 評価

テーマ	身体抑制をしない看護 ～身体抑制ゼロをめざして～				
領域	これから看護管理を担う人々を対象とした研修	会場	看護研修センター ハイブリッド研修	受講料	会 員：3,080 円 非会員：6,160 円
対象	ラダーレベル I～V 看護管理者・保健師・助産師・看護師・准看護師 募集数(60人)応募数(106人)参加数(93人)会員数(85人)非会員数(8人)				
日時	2023年 12月 2日(土曜日) 9:30～15:30				
ねらい(目標)	身体抑制ゼロにむけた取り組みのなかで深まっていく患者理解と患者を尊重する看護の実際を理解し、看護における倫理を再考する。				
講師	小藤 幹恵				
内容・方法	<p>○講義内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の質を支える倫理 ・身体抑制をしない看護のための組織づくり ・身体抑制をしない看護のための教育体制 ・抑制をしない臨床からの実践報告 <p>○研修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 演習 				
結果・評価 (受講者の意見 感想含む)	<p>○評価方法：受講後アンケート調査 アンケート回収率 61%</p> <p>○受講者の満足度 96.5% ○受講者の理解度 100% ○自己課題の達成度 93%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の研修を還元することで、日々のカンファレンスでも患者の尊厳を考えられるようになり、意識づけになると良い看護に繋がられると思った。 ・普段いかに自分が身体拘束に頼った看護をしているか、改めて考えた。 ・日々の看護を振り返る機会になったと同時に、身体拘束を減らす取り組みを実践していきたいと思った。 ・予防的なケアや環境調整やアプローチの仕方が少なかった。倫理的配慮だけでなくアセスメントなどもあれば、ありがたい。 <p>などの意見があがった。</p>				
企画の評価	<p>○目標・内容</p> <p>目標、内容に関してはアンケートより理解度「理解できた、ほぼ理解できた」100%であり、課題の達成度も「達成できた、ほぼ達成できた」93%であったため妥当であった。</p> <p>○プログラムの妥当性</p> <p>「整合性あった、ほぼあった」96.5%であったため、妥当であった。</p> <p>○事前準備・当日の運営など</p> <p>先生のスライド中の写真が途中で映らないなどの不具合が生じたが、途中で協会役員の方に対応してもらい、実施することができた。</p>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が多く、会場と Web 研修となったため、ハイブリッド形式で行い、担当者だけでは対応が難しく、理事の協力を得て進めることができた。参加人数に合わせた運営方法を検討する必要がある。 				
担当者	教育委員				